

発信元：株式会社サンガム IP (<https://www.sangamip.jp>)

インド知財情報メール：第 2020-6 号、2020 年 6 月 30 日発行
本メールにて、当社が関わるイベントやセミナー、
インドの知的財産に関する情報をお届けします。
なお本メールは、ご関心のある方に転送して頂いて構いません。

◆◆◆-----◆◆◆-----TOPICS-----◆◆◆-----◆◆◆

[1] 無料ウェビナー「インドにおける知的財産訴訟の新体制およびコロナパンデミック中の偽造と侵害との戦い」

◆◆◆-----◆◆◆-----TOPICS-----◆◆◆-----◆◆◆

[1] 無料ウェビナー「インドにおける知的財産訴訟の新体制およびコロナパンデミック中の偽造と侵害との戦い」

当社のバパットは、仕事上の関係者から「インドの特許庁や裁判所はロックダウンで業務がすべて止まっているでしょう？大変ですね。今後どうなっていくのですかね。」と言われます。ところがインドの特許庁や裁判所はロックダウン中でもニューノーマルに適応しながらそれなりに機能しています。このような情報は日本の知的財産業界に届いていないようです。

そこで、当社は、インドの知的財産法律事務所のアナンド・アンド・アナンド(Anand and Anand)およびジェトロ・ニューデリー事務所と共同で、コロナパンデミックによるインドにおける知的財産の保護および権利行使への影響について、無料ウェビナーを行います。本ウェビナーは、インドにおける知的財産の権利化および権利行使に興味がある日本企業のかた、日本の弁理士および弁護士を対象としています。

本ウェビナーは、突然グローバルなパンデミックが巻き起こっているこの時世で、自社またはクライアントのブランド・商標・特許などの知的財産をインドで保護するためにはどのような方法があるか、インドの裁判所や税関の現状および今後の役割を知る良い機会です。

みなさまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。心よりお待ちしております。

日時： 2020 年 7 月 16 日 午後 4 時 30 分～午後 6 時 00 分（日本時間）

内容やお申し込み方法などの詳細につきましては当社のホームページ
(www.sangamip.jp) の「SEMINAR」 - 「2020 年」をご覧ください。

株式会社サンガム IP は、東京にオフィスがあるインドの知的財産を専門に扱う会社です。インドにおける特許・意匠・商標の権利化、権利行使、調査、情報収集について日本語でご相談が可能です。

◇本メールは当社のホームページから登録された方にお送りしております。

◇メール配信の中止をご希望の場合、大変お手数をおかけいたしますが、本メールに返信して頂き、その際に件名に「削除」とご記入くださいますようお願い申し上げます。

◇メールアドレスの変更を希望されます方は、本メールに返信して頂き、その際に件名に新メールアドレスと会社名をご記入くださいますようお願い申し上げます。